

* 本件は英国時間 10 月 27 日 11 時(日本時間 27 日 19 時)に英国でも発表しています。

2004 年 10 月 27 日

英国鉄道戦略庁と HSBC Rail UK から鉄道車両(約 30 編成 180 両)の優先交渉権を獲得 車両メンテナンスもあわせて獲得

日立製作所(執行役社長：庄山 悦彦ノ以下、日立)は、このたび、英国の鉄道行政機関である鉄道戦略庁(Strategic Rail Authority)および車両のリースを行う HSBC Rail UK Ltd.から、CTRL 線(Channel Tunnel Rail Link:ドーバー海峡トンネル連絡線)で運行される高速鉄道用車両約 30 編成約 180 両(1 編成 6 両で構成)および同車両の保守事業に関する優先交渉権を獲得しました。日立は今後の交渉を経て、本件の受注を獲得するとともに、英国市場ならびに欧州大陸への事業拡大を加速していきます。

CTRL 線は、ドーバーからロンドン市内のセントパンクラスを結ぶ英国内初の高速線として、2003 年 9 月に部分開業し、現在、ロンドン～パリ間を結ぶ大陸間高速鉄道であるユーロスターの英国内での高速化を目指し、2007 年の全線開業にむけ、建設が進められています。

今回日立が優先交渉権を獲得した車両は、CTRL Domestic 車両(英国内運行用車両)として、CTRL 線区周辺の在来線(South Eastern 線：南東線)経由で CTRL 線に乗り入れ、ケント州地区とセントパンクラスを高速で結ぶ車両として、ケント州地区沿線の通勤等のサービス向上のために配備されます。車両は 6 両 1 編成のアルミ製車両で、CTRL 線内の最高速度は 225Km/h となっています。

今回の優先交渉権の獲得は、新幹線や各種鉄道車両における日立の長年にわたる実績と、日立が全世界への拡販を目指す、最新の鉄道技術などの品質と信頼性が評価されたものです。特に日立が拡販を目指している「A-train」は、素材にアルミを使用した軽くて丈夫な車両で、その製作に際しては、鉄道車両への適応を世界に先駆けて実現した FSW (Friction Stir Welding:摩擦攪拌接合)を採用するなど、日立の提唱する最新の技術により実現する次世代鉄道車両といえます。

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
